



横浜市立城郷小学校  
明治33年6月創立

# 学校だより

めざす子ども像

令和4年10月25日

11月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

## かべを越える

校長 三瓶 淳

秋が深まってきていることが、校庭に立つ樹木からも分かるようになりました。朝晩と日中の寒暖差が大きくなり、葉が色づき始めています。校庭に面した花壇には、百日草がきれいに咲き誇っています。晴れた日に空を見上げてみると、すじ雲やひつじ雲が広大な青いキャンパスに広がり、まるで生き物（くじらやわし、龍など）が描かれているかのように存在していました。

さて22日（土）には、3年ぶりに全校児童が校庭に集まり、運動会を行うことができました。開会式では、朝礼台を中心にマスクを外した子どもたちが整列しました。壇上に上がり、その表情が目飛び込んできた時は、**こみ上げてくる感動**で胸が熱くなりました。また、PTA 役員の方々と一番悩んだのが、保護者を2部制にして入れ替える動線でした。何度シミュレーションしても、初めてのことで気になることがありました。しかし、子どもたちの頑張りや徒競走や演技等が順調に進んだこと、何より保護者のご協力を得られたことにより、入れ替えの混雑は最小限に収めることができました。そのお陰で、閉会式までほぼ予定通り終わることができました。保護者の皆さまに感謝申し上げます。

ところで、学校行事を通して目指すことは「協働的な学び：同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと」です。特に、運動会では学年演技を完成させるまでに、自分ひとりの演技習得から始まり、その後クラス内を経て学年全体で合わせるなど、徐々に目標が大きくなります。夏休み前より模範演技の動画を見ながら練習を始めた学年もありますが、本格的に体育授業で始まったのは9月中旬。そこからの1か月は、子どもたちにとって決して楽なことばかりではなかったようです。踊ること、ましてや大勢の前で踊ることに抵抗を感じたり、自分は合わせられないと限界を作っていたりするような子どももいました。運動会までの残りの練習が少なくなった数日前に、そんな子どもたちの心に温かな光を与えたのは、仲間たちでした。「一緒にやろうよ。」「失敗しただって大丈夫。」「限界を突破しよう。」「去年の演技を超えよう。」当日の学年演技は、お家の方々にしっかりと見てもらいたいという気持ちも重なり、間違いなくこれまでの中で**最高の演技(ダンス)であり、最高の表情**でした。それは、演技を終えて退場する時の子どもたちの表情を見ても感じ取れました。**自分のかべを、自分の力で乗り越えた瞬間**だったと思います。下校時に「あ～、楽しかったね♪」とつぶやく低学年の子どもたちの言葉にも繋がっています。

参観された学校運営協議会委員の皆様からも、「学年演技への取組」「見学している児童の態度」「応援団のパフォーマンスと太鼓の工夫」に高い評価をいただきました。また「保護者の参観するマナーのよさは児童の手本」という評価もいただきました。